

事業所名

クスノキ

## 支援プログラム

作成日

2026年

2月

1日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが楽しく成長できるように安心、安全な場所を提供します。</li> <li>子どもの笑顔を大切に、家庭や支援者と共に切れ目のない支援で可能性にあふれた将来につなげます。</li> </ul>							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>個性や特性に合わせた個別支援計画を作成し、「できた」を積み重ねて無理なく目標を達成していきます。</li> <li>一人ひとりとしっかり向き合い信頼関係を築き安全基地となり、家庭や支援者と共に切れ目のない支援を提供します</li> <li>音楽療法を行い、心理的、社会的、生理的（脳の発達など）な効果により、5領域の支援活動を促進させます。</li> </ul>							
営業時間		平日	13時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
		休日	9時	30分	15時	30分			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行う。</li> <li>衣服の着脱、食事、排泄当基本的な生活リズムを身につけられるように支援します。</li> <li>食事の際も口腔内機能や感覚等に配慮しながら姿勢保持や自助具等での支援を行う。また特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化します。</li> </ul>							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>感覚の過敏さや認知の偏りなどの特性をふまえ、情報を適正に処理できるように支援します。</li> <li>日常生活に必要な動作の基本となる姿勢の保持や運動・動作の改善・筋力の維持、強化をはかります。</li> <li>日常生活に必要な移動能力の向上の為に支援をします。音楽療法を通して、聴覚を活用し発達を促します。</li> </ul>							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を適切に処理できるよう支援し、偏り等の特性に配慮し、こだわりや偏食等に対する支援を行う。</li> <li>感覚や・認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防及び適切行動への支援を行う。</li> <li>5感覚を十分活用して、必要な情報を収集し認知機能の発達を促す支援を行う。</li> </ul>							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種の文字・記号、絵カード等の手段を適切に選択、活用し、意思伝達が円滑にできるよう支援する。</li> <li>具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつけるなどにより、自発的な発声を促す支援を行う。</li> <li>指導員からの声掛けに対し、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行います。</li> </ul>							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のできること、できないことなど自分の行動の特徴を理解し、気持ちや情動の調整ができるように支援する。</li> <li>見立て遊びやごっこ遊び等の象徴遊びを通して徐々に社会性の発達を支援する。</li> <li>集団に参加するための手順やルールを理解したり、遊びや集団活動に参加できるように支援する。</li> <li>人との・関係を意識し周囲の人との安定した関係を形成できるように支援します。</li> </ul>							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活において、本人の意思を大切にしながら、家庭生活を安定、充実させる。発達の特性や理解に向けた相談援助。</li> <li>本人の意思を大切にできるような支援の仕方をお伝えして共有します。</li> </ul>				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な連携に加え、特に行事等の際には、説明の方法や取り組み方を共有する。日々の様子を学校、事業所と確認する。</li> <li>学校からの連絡は、事業所に知らせてもらう。</li> </ul>	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの関係機関で得られた情報を共有し、日常生活や支援に活用する。</li> <li>連携会議を定期的開催し、各機関からの情報に基づき関わり方の提案やポイントについて助言を行う。</li> </ul>				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>職員研修（虐待防止・身体拘束適正化・感染症・ハラスメント等）決められた回数実施。</li> <li>スキルアップに向けた資格の取得支援。日々の振り返りや職員間での情報共有します。</li> </ul>	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の行事</li> <li>長期休暇は、公園や身体を動かせる場所にいきます。</li> <li>避難訓練。</li> </ul>							